

平成29年
2017
第34回

うんなまつり

「笑顔の和 絆ぶかまる 夏まつり」をテーマに第34回うんなまつりが、7月22日、23日の両日に恩納村コミュニティ広場をメイン会場に開催され、多くの来場者で賑わいました。

今年の魚・果物つかみ取り大会は新設したプールで行われ、ステージではMANAMIや、きいやま商店のライブでまつりを盛り上げました。



第3代 MISS 恩納ナビーが決定！

村の観光などをPRする「ミス恩納ナビー」の審査が7月13日に行われ、具志堅ホサナさん、伊波留依さんが選ばれました。

7月23日に開催された「第34回うんなまつり」で、引継ぎ式が行われ、第2代の横田亜矢加さん、伊波彩絵さんからタスキを受け取りました。

具志堅ホサナ（写真右）

第3代恩納ナビーとして、恩納村の素晴らしさ、自然や食、地域の豊かさを、地元の方々、国内外の観光客の方々にもしっかりと伝えていけるように務めていきたいです。

伊波留依（写真左）

今回、第3代 MISS 恩納ナビーに選出され、とても嬉しく思います。まだ知らない恩納村の魅力も勉強し、この活動で経験や知識を養いたいです。恩納村を県内外、海外と広く発信できるよう、精一杯務めます。



恩納100 むらのきおく その八十三



クルマボー（唐竿）

細い棒をつなげただけの簡単なつくりをしていますが、麦や豆などの脱穀に使われた道具です。日に干して乾燥させた豆をムシロの上に広げ、クルマボーでたたいて実を落としました。使い方は、短い方の棒を手に持って振り上げ、振り下ろします。そうすると、長い方の棒がうまく回転してムシロの上をたたくことになります。本土にも同じ道具がありますが、長い方が持ち手になっており、沖縄とは逆の使い方ようです。